



# 系満市小中一貫教育通信

第6号 令和3年4月15日(木) 系満市教育委員会

## 【第4回系満市小中一貫教育推進委員会開催】

日時：令和3年4月15日(木) 16:00~17:30  
場所：系満市役所3階3-c会議室  
議事：

### 1. 系満市小中一貫教育における教科担任制及び乗り入れ指導について

#### 提案概要

- 小学校で考えられる教科担任制の類型
  - 特定教科における専科指導について  
特定の教科において専科教員が単独で指導する授業形態
  - 学級担任間の授業交換について  
学年を組む教員同士で、配当数が同じ教科の授業を交換することで小学校段階の教員専科指導の導入が可能
  - 専科教員と学級担任とのTTについて  
特定の教科を専科で持つ教員が主導して、各学級の担任とTT(ティームティーチング)を組む授業

#### 具体例

| 教科クラス   | 国語 | 算数 | 理科 | 社会  | 音楽 |
|---------|----|----|----|-----|----|
| 6年1組担任A | A  | B  | C  | D・A | E  |
| 6年2組担任B | A  | B  | C  | D・B | E  |

※Cは小学校担任外教員、D及びEは中学校教員

#### 主な意見

- 乗り入れ指導は人的配置のための予算が必要不可欠です。小中一貫教育の主な目的はスムーズな接続だと思うため、既に行っていることを拡充していく必要があります。推進委員会の提言として言うのであれば、予算の確保や教職員の加配なしには小中一貫教育は難しいと思います。
- 系満市の問題点を整理した上で課題をオープンにし、取り組みによって改善した点を示す必要があります。系満市においては教職員の教材研究時間を一定数確保しようとしており、働き方改革の観点からも大変評価出来ます。しかし、施設隣接型や施設分離型においては、教職員の負担が増すことが容易に想像できるため、予算措置なしには困難と考えます。
- 本市における小中一貫教育の取り組みは、高嶺小中学校を念頭に置いたものとなっていると思いますが、段階的に進める必要があると感じています。
- 現在の高嶺小中学校の児童・生徒数は以前と比較すると減少傾向にあるが、小中一貫教育校の開校により一定数の確保または増加することを期待しています。

### 2. 系満市小中一貫教育における特色ある取り組みについて

#### 提案概要

令和6年度からスタートする小中一貫教育校において、学校教育における課題や中学校区ごとの特色ある地域資源等の活用を踏まえ、将来の予測が難しい社会の中でも「未知の社会を生き抜く力」、「未来を作り出していくために必要な力」を身につけるための特色ある主な取り組みとして、次のとおり提案します。

- ☆小学校第1学年からの英語教育(教育課程特例校制度の導入)
- ☆地域資源を活かしたふるさと学習(キャリア教育、環境教育)

#### 主な意見

- 小中一貫教育における特色ある取り組みを考えると、9年間の学びの連続性を意識したものになるが、市内全校で全て行うのは厳しいと想定されるため、目指すべき方向性や事柄を示す程度に留めた方が良いと思う。
- 仮に市内全校対象に英語活動を実施となった場合、高嶺小中学校の特有の取り組みとはならないため、高嶺小中学校の児童生徒が増えることは期待し難いと感じています。
- 石川県小松市内の学校で特色ある取り組みとして、SDGs(持続可能な開発目標)を題材にした未来探究科があります。他県の先進的な取り組みも参考にしたいです。
- 特色ある取り組みについて異論はないものの、昨今は働き方改革も叫ばれていることから、これから取り組むことが働き方改革にも繋がるようお願いいたします。是非、教職員のことも考えて頂きたいです。

